

## タングステン電極棒

# ティグ溶接電極棒

### タングステン電極棒の種類

銘柄	識別色	種類	特性
純タン	緑	純タングステン電極棒	不純物に対して抵抗力があるため、アルミニウムやマグネシウムの溶接に適している。
トリタン	赤	2%トリア入り タングステン電極棒	アークの安定性に優れているが、寿命は短い。
セリタン	灰	2%セリア入り タングステン電極棒	寿命は長いですが、アークスタートが悪く、安定性に劣る。
ランタン	青	2%ランタン入り タングステン電極棒	”

### アークの安定性の比較

トリタン > ランタン > セリタン > 純タン

### 寿命の比較

セリタン > ランタン > トリタン > 純タン

### 製品寸法

棒 径 mm	1.0	1.6	2.4	3.2	4.0	4.8	棒 長 mm	150
--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	--------	-----

仕上げ加工は全てセンターレス研磨をしています。

### 使用上の注意

1. 電極棒はご使用になるまで清潔な場所に包装して保管して下さい。
2. 溶接の際には必要以上に長く伸ばさず、ガスシールド内でのみ使用して下さい。
3. 溶接中に電極棒と溶接材料の接触は避けてください。
4. 汚れたり溶融した電極棒の先端は、再研磨して使用して下さい。
5. 溶接終了後は電極棒が冷えてからシールドガスを止めて下さい。電極棒が赤い内に止めた場合、表面が酸化して安定したアークを得られなくなります。
6. タングステンは非常に脆いため、取り扱いに注意して下さい。